

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月5日

上場取引所 東大

上場会社名 乾汽船株式会社

コード番号 9113 URL <http://www.inuishop.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 乾 新悟

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 阿部 健二

TEL 03-3548-3273

四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日

配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	10,756	44.8	936	88.2	999	87.0	681	83.2
21年3月期第3四半期	19,475		7,969		7,685		4,049	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	23.16	
21年3月期第3四半期	137.68	

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	28,024	21,919	78.2	745.31
21年3月期	28,990	21,839	75.3	742.57

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 21,919百万円 21年3月期 21,839百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期				26.00	26.00
22年3月期 (予想)				5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,800	33.6	1,300	83.1	1,300	83.0	900	75.5	30.60

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 無

以外の変更 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	29,429,335株	21年3月期	29,429,335株
-------------------	-------------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数	22年3月期第3四半期	19,288株	21年3月期	19,285株
---------	-------------	---------	--------	---------

期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	29,410,048株	21年3月期第3四半期	29,410,246株
--------------------	-------------	-------------	-------------	-------------

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期(平成21年10月1日～平成21年12月31日)の世界経済は、各国の財政・金融の緊急対応諸策の効果もあり回復してきているものの、先進国と途上国・新興国で回復の勢いの差は顕著となりました。中国・インドを中心としてアジア経済は回復が力強さを増しておりますが、欧米経済は回復が緩やかで、先行きの不透明感が払拭されておられません。一方、我が国経済は、輸出が持ち直しに転じ、景気が回復方向にあるものの、デフレギャップが重荷となり、政権交代後の政治の不安定な状態もあり、依然として厳しい状況が続いております。

事業を取り巻く環境としては、運賃及び用船市況については、中国などのアジアを始めとした需要の拡大を背景として、回復基調が継続しており、不安定要素はありますが、今後も持続的な伸びが期待できる明るい兆候が見られるようになりました。

歴史的な高市況の影響を受けた前年同期との比較では、売上高及び利益の大幅な減少となりましたが、市況悪化に備えた中・長期貸船契約の締結や数量契約の締結等により収益の固定化・安定化比率を高めるとともに、持続的な支配船腹の効率配船に努めましたことが功を奏し、また昨年来海運市況も漸次回復しているため、今年度は、期初より3四半期連続で収益・利益を上積みしており右肩上がりの業績を確保して来ております。

当第3四半期の平均為替レートは90.49円/米ドル(前年同期は100.10円/米ドル)であり、平均燃料油価格はUS\$448/MT(前年同期はUS\$535/MT)となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間(注：平成21年4月1日～平成21年12月31日)の連結売上高は10,756百万円(前年同期比8,718百万円減少)、営業利益は936百万円(前年同期比7,032百万円減少)、経常利益は999百万円(前年同期比6,686百万円減少)、四半期純利益は681百万円(前年同期比3,367百万円減少)となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間(平成21年10月1日～平成21年12月31日)での連結売上高は4,012百万円(前年同期比1,608百万円減少)、営業利益は450百万円(前年同期比1,417百万円減少)、経常利益は521百万円(前年同期比624百万円減少)、四半期純利益は289百万円(前年同期比202百万円増加)です。

注) 前年同四半期の増減額は参考として記載しております。

注) 平成22年3月期第1四半期及び第2四半期に関わる連結経営成績に関する定性的情報については平成22年3月期第1四半期決算短信(平成21年8月7日開示)及び第2四半期決算短信(平成21年11月6日開示)をご参照下さい。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産、負債、純資産に関する分析

当第3四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べ965百万円減少し、28,024百万円となりました。これは主に中古船購入および新造船建造にともなう有形固定資産599百万円、その他流動資産1,275百万円等の増加、現金及び預金3,423百万円等の減少によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,046百万円減少し、6,104百万円となりました。これは主に未払法人税等1,529百万円等の減少、その他流動負債274百万円等の増加によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ80百万円増加し、21,919百万円となりました。これはその他有価証券評価差額金167百万円の増加、繰延ヘッジ損益3百万円ならびに利益剰余金83百万円の減少等によるものです。

以上の結果、連結ベースの自己資本比率は78.2%となりました。

#### (2) キャッシュ・フローに関する分析

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は6,429百万円となり、第2四半期連結会計年度末に比べ2,281百万円の減少(前年同四半期末比2,475百万円の減少)となりました。

当第3四半期連結会計期間における各キャッシュフローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

##### (営業活動によるキャッシュフロー)

営業活動により減少した資金は1,253百万円(前年同四半期は179百万円の増加)で、これは主に税金等調整前四半期純利益509百万円ならびに減価償却費434百万円、たな卸資産の増加158百万円、売上債権の増加231百万円等及び法人税等の支払額1,701百万円等によるものです。

##### (投資活動によるキャッシュフロー)

投資活動により減少した資金は1,915百万円(前年同四半期は214百万円の減少)で、これは主に中古船購入代金および新造船建造代金等の有形固定資産の取得等によるものです。

##### (財務活動によるキャッシュフロー)

財務活動により増加した資金は830百万円(前年同四半期は171百万円の減少)で、これは主に設備投資資金1,000百万円の新規調達等によるものです。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

第4四半期につきましては、概況で記述いたしましたとおり、昨年夏場以降の運賃及び用船市況の回復が持続することが期待されることから、現時点での事業環境を見直しました結果、通期の業績に関しては、平成22年1月29日に開示致しましたとおり、以下の予想といたします。

(平成22年3月期連結業績予想)

(単位：百万円)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
第3四半期累計期間実績	10,756		936		999		681	
通期予想	14,800	(14,300)	1,300	(1,000)	1,300	(1,000)	900	(700)

注：通期予想に係る（ ）内の数値は、第2四半期決算発表に開示した業績予想数値です。

(平成22年3月期個別業績予想—参考情報)

(単位：百万円)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
第3四半期累計期間実績	10,877		991		1,085		767	
通期予想	15,000	(13,700)	1,300	(1,000)	1,400	(1,100)	950	(650)

注：通期予想に係る（ ）内の数値は、平成21年3月期決算短信に開示した業績予想数値です。

なお、為替、燃料油価格の予想前提は以下の通りです。

	第4四半期前提 (今回予想前提) (自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)	第3～第4四半期前提 (前回予想前提 第2四半期発表時) (自 平成21年10月1日 至 平成22年3月31日)
為替レート (円/1米ドル)	¥90.00	¥90.00
燃料油価格 (US\$/MT)	US\$520	US\$470

配当金については、基本方針として、当面の間、安定配当と業績連動配当を合わせて、配当性向を通期の個別業績の当期純利益の20%を目安とすることに決定し対外発表しておりますが、今後の通期業績の推移を見つつ、今年度の決算を纏めた時点で、基本方針に基づいて配当を決定させていただきます。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当第3四半期連結累計期間  
(自 平成21年4月1日  
至 平成21年12月31日)

(四半期連結損益計算書)

1. 従来、四半期連結損益計算書については、「海運企業財務諸表準則」（昭和29年運輸省告示第431号）に基づいて表示しておりましたが、当連結会計年度より、四半期連結損益計算書の明瞭性を高めるため、「四半期連結財務諸表規則」に即して、従来の海運業収益及びその他事業収益を合計して売上高の「海運業収益及びその他の営業収益」として、従来の海運業費用及びその他事業費用を合計して売上原価の「海運業費用及びその他の営業費用」として表示しております。当該変更に伴い、従来の海運業利益及びその他事業利益を合計し、売上総利益として表示しております。

なお、当第3四半期連結累計期間における「運賃」は8,794,947千円、「貸船料」は1,936,393千円、「その他海運業収益」は11,360千円、「運航費」は4,089,443千円、「船費」は2,691,012千円、「借船料」は2,245,349千円、「その他海運業費用」は84,287千円であり、海運業収益合計10,742,701千円、海運業費用合計9,110,092千円、海運業利益1,632,608千円であります。また「その他事業収益」は14,220千円、「その他事業費用」は5,907千円、「その他事業利益」は8,312千円であります。

2. 前第3四半期連結累計期間において、特別損失の「その他」に含めて表示しておりました「ゴルフ会員権評価損」は、特別損失総額の100分の20を超えたため、当第3四半期連結累計期間では区分掲記することとしました。なお、前第3四半期連結累計期間の特別損失の「その他」に含まれる「ゴルフ会員権評価損」は115千円であります。

当第3四半期連結会計期間  
(自 平成21年10月1日  
至 平成21年12月31日)

(四半期連結損益計算書)

1. 従来、四半期連結損益計算書については、「海運企業財務諸表準則」（昭和29年運輸省告示第431号）に基づいて表示しておりましたが、当連結会計年度より、四半期連結損益計算書の明瞭性を高めるため、「四半期連結財務諸表規則」に即して、従来の海運業収益及びその他事業収益を合計して売上高の「海運業収益及びその他の営業収益」として、従来の海運業費用及びその他事業費用を合計して売上原価の「海運業費用及びその他の営業費用」として表示しております。当該変更に伴い、従来の海運業利益及びその他事業利益を合計し、売上総利益として表示しております。

なお、当第3四半期連結会計期間における「運賃」は3,201,248千円、「貸船料」は800,802千円、「その他海運業収益」は5,654千円、「運航費」は1,532,791千円、「船費」は905,549千円、「借船料」は869,887千円、「その他海運業費用」は34,593千円であり、海運業収益合計4,007,705千円、海運業費用合計3,342,823千円、海運業利益664,882千円であります。また「その他事業収益」は4,738千円、「その他事業費用」は1,434千円、「その他事業利益」は3,304千円であります。

2. 前第3四半期連結会計期間において、営業外費用の「その他」に含めて表示しておりました「船舶燃料受渡差額金」は、営業外費用総額の100分の20を超えたため、当第3四半期連結会計期間では区分掲記することとしました。なお、前第3四半期連結会計期間の営業外費用の「その他」に含まれる「船舶燃料受渡差額金」は95,949千円であります。

5 . 四半期連結財務諸表  
 ( 1 ) 四半期連結貸借対照表

( 単位 : 千円 )

	当第3 四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年 3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,429,760	9,853,740
海運業未収金	628,966	445,369
有価証券	177,233	160,562
貯蔵品	715,264	420,637
繰延及び前払費用	259,240	209,939
その他	1,554,493	278,664
貸倒引当金	278	278
流動資産合計	9,764,680	11,368,635
固定資産		
有形固定資産		
船舶 (純額)	11,046,711	10,908,853
その他 (純額)	2,263,554	1,802,372
有形固定資産合計	13,310,266	12,711,225
無形固定資産	7,866	9,964
投資その他の資産		
投資有価証券	4,536,669	4,506,006
その他	432,271	421,822
貸倒引当金	27,528	27,528
投資その他の資産合計	4,941,412	4,900,300
固定資産合計	18,259,545	17,621,490
資産合計	28,024,225	28,990,125
<b>負債の部</b>		
流動負債		
海運業未払金	1,225,842	1,401,478
短期借入金	874,448	778,126
未払法人税等	-	1,529,970
賞与引当金	6,328	26,629
役員賞与引当金	-	58,000
その他	584,261	309,268
流動負債合計	2,690,880	4,103,472
固定負債		
長期借入金	2,575,586	2,201,651
繰延税金負債	483,275	562,536
退職給付引当金	70,938	63,712
特別修繕引当金	226,000	162,750
その他	57,896	56,922
固定負債合計	3,413,696	3,047,572
負債合計	6,104,577	7,151,045

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,351,682	3,351,682
資本剰余金	2,098,314	2,098,314
利益剰余金	15,838,516	15,921,983
自己株式	6,249	6,246
株主資本合計	21,282,265	21,365,734
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	217,179	384,847
繰延ヘッジ損益	4,625	992
為替換算調整勘定	859,186	859,186
評価・換算差額等合計	637,382	473,346
純資産合計	21,919,647	21,839,080
負債純資産合計	28,024,225	28,990,125

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
<b>海運業収益</b>		
運賃	15,885,363	-
貸船料	3,562,894	-
その他海運業収益	11,202	-
<b>海運業収益合計</b>	<b>19,459,459</b>	<b>-</b>
<b>海運業費用</b>		
運航費	5,331,684	-
船費	3,159,677	-
借船料	2,146,898	-
その他海運業費用	180,196	-
<b>海運業費用合計</b>	<b>10,818,457</b>	<b>-</b>
<b>海運業利益</b>	<b>8,641,002</b>	<b>-</b>
その他事業収益	16,364	-
その他事業費用	5,882	-
<b>その他事業利益</b>	<b>10,482</b>	<b>-</b>
<b>売上高</b>		
海運業収益及びその他の営業収益	-	10,756,921
<b>売上原価</b>		
海運業費用及びその他の営業費用	-	9,116,000
<b>売上総利益</b>	<b>-</b>	<b>1,640,921</b>
<b>一般管理費</b>	<b>682,330</b>	<b>704,109</b>
<b>営業利益</b>	<b>7,969,155</b>	<b>936,811</b>
<b>営業外収益</b>		
受取利息	116,489	34,263
受取配当金	67,339	53,226
保険解約返戻金	-	54,348
船舶燃料受渡差額金	93,179	55,960
その他	2,315	36,688
<b>営業外収益合計</b>	<b>279,323</b>	<b>234,486</b>
<b>営業外費用</b>		
支払利息	41,221	22,761
為替差損	311,287	138,289
その他	210,586	11,165
<b>営業外費用合計</b>	<b>563,095</b>	<b>172,216</b>
<b>経常利益</b>	<b>7,685,383</b>	<b>999,081</b>
<b>特別利益</b>		
投資有価証券売却益	-	186,139
<b>特別利益合計</b>	<b>-</b>	<b>186,139</b>

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
特別損失		
前期損益修正損	43,409	-
投資有価証券評価損	615,254	6,787
ゴルフ会員権評価損	-	5,175
その他	115	-
特別損失合計	658,778	11,962
税金等調整前四半期純利益	7,026,604	1,173,258
法人税、住民税及び事業税	3,357,825	598,585
法人税等調整額	380,368	106,521
法人税等合計	2,977,456	492,063
四半期純利益	4,049,148	681,195

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
<b>海運業収益</b>		
運賃	4,819,923	-
貸船料	793,453	-
その他海運業収益	2,436	-
<b>海運業収益合計</b>	<b>5,615,814</b>	<b>-</b>
<b>海運業費用</b>		
運航費	1,604,698	-
船費	1,178,876	-
借船料	694,544	-
その他海運業費用	50,744	-
<b>海運業費用合計</b>	<b>3,528,862</b>	<b>-</b>
<b>海運業利益</b>	<b>2,086,951</b>	<b>-</b>
その他事業収益	5,020	-
その他事業費用	1,442	-
<b>その他事業利益</b>	<b>3,577</b>	<b>-</b>
売上高		
海運業収益及びその他の営業収益	-	4,012,443
売上原価		
海運業費用及びその他の営業費用	-	3,344,257
<b>売上総利益</b>	<b>-</b>	<b>668,186</b>
一般管理費	222,610	217,750
<b>営業利益</b>	<b>1,867,918</b>	<b>450,435</b>
<b>営業外収益</b>		
受取利息	19,605	8,937
受取配当金	31,473	11,490
有価証券運用益	-	17,967
為替差益	-	37,927
船舶燃料受渡差額金	30,614	8,748
その他	84	1,084
<b>営業外収益合計</b>	<b>81,778</b>	<b>86,156</b>
<b>営業外費用</b>		
支払利息	12,983	6,556
為替差損	632,637	-
船舶燃料受渡差額金	-	7,663
その他	157,571	647
<b>営業外費用合計</b>	<b>803,192</b>	<b>14,867</b>
<b>経常利益</b>	<b>1,146,504</b>	<b>521,724</b>

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
特別損失		
前期損益修正損	3,047	-
投資有価証券評価損	585,261	6,787
ゴルフ会員権評価損	-	5,175
特別損失合計	588,309	11,962
税金等調整前四半期純利益	558,195	509,761
法人税、住民税及び事業税	542,857	114,072
法人税等調整額	71,874	106,345
法人税等合計	470,983	220,417
四半期純利益	87,211	289,343

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	7,026,604	1,173,258
減価償却費	1,266,946	1,281,885
貸倒引当金の増減額(は減少)	91	-
賞与引当金の増減額(は減少)	15,588	20,300
特別修繕引当金の増減額(は減少)	32,750	63,250
受取利息及び受取配当金	183,828	87,489
支払利息	41,221	22,761
投資有価証券売却損益(は益)	-	186,139
投資有価証券評価損益(は益)	615,254	6,787
為替差損益(は益)	454,725	120,516
未収消費税等の増減額(は増加)	10,697	10,642
たな卸資産の増減額(は増加)	16,114	294,626
売上債権の増減額(は増加)	141,661	183,596
仕入債務の増減額(は減少)	221,420	159,601
その他	330,811	150,719
小計	9,013,938	1,596,627
利息及び配当金の受取額	189,216	90,895
利息の支払額	41,582	22,773
法人税等の支払額	4,926,235	3,225,073
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,235,337	1,560,324
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	1,273,815	1,896,878
無形固定資産の取得による支出	2,750	777
投資有価証券の取得による支出	632,418	493,540
投資有価証券の売却による収入	-	819,480
投資有価証券の償還による収入	77,467	128,521
貸付けによる支出	800	-
貸付金の回収による収入	1,770	4,380
その他	8,974	20,004
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,839,520	1,458,818
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	100,000	-
長期借入れによる収入	-	1,000,000
長期借入金の返済による支出	511,375	507,055
自己株式の取得による支出	74	2
配当金の支払額	1,173,511	761,756
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,784,961	268,813
現金及び現金同等物に係る換算差額	472,555	136,023
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	138,299	3,423,980

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
現金及び現金同等物の期首残高	8,767,453	9,853,740
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,905,753	6,429,760

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
当社及び連結子会社の営んでいる事業のうち、海運業の売上高及び営業利益の金額は、全体の売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%を超えているため、記載を省略しております。	当社及び連結子会社の営んでいる事業のうち、海運業の売上高及び営業利益の金額は、全体の売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)				
	日本 (千円)	パナマ (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	19,475,824	—	19,475,824	—	19,475,824
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	253,692	3,411,859	3,665,552	(△3,665,552)	—
計	19,729,517	3,411,859	23,141,377	(△3,665,552)	19,475,824
営業利益	7,831,823	137,331	7,969,155	—	7,969,155

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)				
	日本 (千円)	パナマ (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	10,756,921	—	10,756,921	—	10,756,921
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	120,364	2,618,194	2,738,558	(△2,738,558)	—
計	10,877,285	2,618,194	13,495,479	(△2,738,558)	10,756,921
営業利益又は営業損失 (△)	991,236	△54,424	936,811	—	936,811

## 〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	北米	ヨーロッパ	アジア	オセアニア	その他	計
I 海外売上高（千円）	1,461,252	1,938,512	1,466,439	3,430,880	3,487	8,300,572
II 連結売上高（千円）	—	—	—	—	—	19,475,824
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	7.5	10.0	7.5	17.6	0.0	42.6

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	北米	ヨーロッパ	アジア	オセアニア	その他	計
I 海外売上高（千円）	1,500,076	868,983	243,170	2,015,230	104,295	4,731,755
II 連結売上高（千円）	—	—	—	—	—	10,756,921
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	13.9	8.1	2.3	18.7	1.0	44.0

（注）1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米……………アメリカ、カナダ

(2) ヨーロッパ……………ドイツ、ノルウェー、オランダ、フランス、ベルギー

(3) アジア……………マレーシア、香港、タイ、シンガポール、韓国、中国

(4) オセアニア……………オーストラリア、ニュージーランド、バヌアツ

(5) その他……………パナマ、アフリカ

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。